

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	サポートファーマー育成事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	新しい芽 リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'02	2 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、継続的に育成されるしくみをつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、農業者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： JA湘南】		
	目的・目標		事業の概要
研修修了者が援農組織に登録し、農業の担い手が育成されています。		農業の補助的な担い手を育成するため、農業者以外の市民を対象とした本格的な農業技術研修（研修農場での作付け、肥培管理、収穫等）を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	サポートファーマー研修会開催回数(平成26年度まで)			単位	回
	説明・算定式	実技研修及び講義研修の回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	47	50	50		
	実績	58	56	53		
活動指標	指標名	援農ボランティア広報活動(平成27年度から)			単位	回
	説明・算定式	農家及び援農希望者へ援農ボランティア事業をPRする回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標				5	
	実績					
成果指標	指標名	援農者数(平成26年度まで)			単位	回
	説明・算定式	援農組織への登録者数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	35	40	45		
	実績	35	47	55		
成果指標	指標名	援農ボランティア登録者数(平成27年度から)			単位	人
	説明・算定式	援農ボランティアに登録した者の数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標				10	
	実績					
成果指標	指標名	援農回数(平成27年度から)			単位	人
	説明・算定式	援農ボランティアの実働回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標				30	
	実績					
進捗状況	： 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
市民14名を対象に農業技術研修を実施するとともに、JA湘南が主催する農業機械や農薬の講習会に参加しました。JA湘南サポートバンクへの新規登録者数は8人で、計55人となりました。また、より効果的な援農事業になるよう研修修了生や農業者へのヒアリングを行い、平成27年度より事業の見直しを行いました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	定年退職者など農業に関心のある市民が援農したいというニーズと、高齢化等により農作業を手伝ってほしいという農業者からの要望があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	研修を実施し、農業に関する技術や知識を習得できる機会を継続して提供していくことで、農業者以外の市民の力を援農として活用できると考えられます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	農業者の高齢化や後継者が減少しているなか、農業者の補助的な労働者を育成し、援農させることは農業経営の安定化につながります。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	農協や県など農業技術や地域農業に精通した専門機関と連携して取組むことで事業の効率化が図られます。	高中低
今後に向けた課題の分析 平成27年度でサポートファーマー育成事業は終了となりますが、その代替事業として先行して始めた援農ボランティア事業において、ボランティアを希望する市民を需要に見合うように集めていくことが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		研修会の開催、JAサポートバンクへの登録促進	研修会の開催、JA湘南サポートバンクへの登録促進	研修会の開催、JA湘南サポートバンクへの登録促進	巡回指導の実施及び農家と援農希望者のマッチング
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	128	208	163	98
	一般財源	515	437	560	176
事業費 (A)		643	645	723	274
執行率 (%)		78.22	71.11	94.02	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
1年間事業を実施し、農業者、ボランティア双方から出てきた課題や要望等を事業内容に積極的に取り入れ、より良い事業を目指します。
課長コメント
農業者ニーズが高いなか、援農ボランティアの登録をいかに増やしていくかが重要となります。事業のPRを含め、広く受け入れていくことができるように、事業を展開していきます。